

「世界一細長い国」の誕生

オラー

Hola! (こんにちは) 国際交流員のカタリーナです。
 チリの全長は約4600kmで、「世界一細長い国」として有名です。しかし、スペインから独立した時、チリは現在の1/3程度の長さでした。今回はチリが細長くなった理由を簡単に紹介します。

北 部 当時ボリビア領だった地域で硝石や銅がみつかったことをきっかけに、チリとボリビアの間で戦争（太平洋戦争1879年-1884年）が起こり、ペルーはボリビアと組んで、チリはイギリスから支援を受けました。結果、チリが勝利し、ボリビアとペルーの一部はチリ領となりました。

南 部 スペインから独立後、チリ・アルゼンチン南部に暮らしていたマプチェ族を制圧し、南東に広がりました。その後、マゼラン海峡の支配権を巡るアルゼンチンとの争いで勝利しました。その後1881年に国境画定が結ばれ、現在の国境となりました。



今月のスペイン語

ビクトリア
Victoria
 勝利

(左) スペインから
 独立時
 (右) 現在